

# 手話講座

## ボーイスカウト

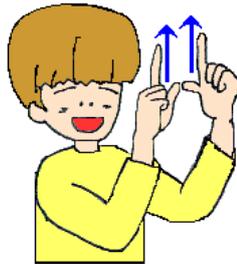


私 (は)

です



「東」



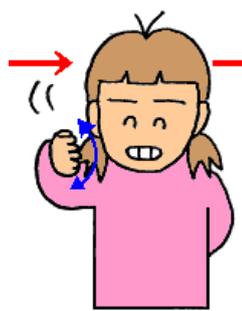
太陽が昇る

「西」



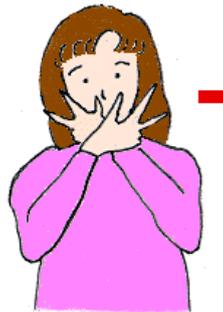
太陽が沈む

「南」



暑いのであおぐ

「北」



「北」という字

あ



アルファベットの  
「a」

い



アルファベットの  
「i」

う



アルファベットの  
「u」

え



アルファベットの  
「e」

お



アルファベットの  
「o」

か



アルファベットの  
「k」

き



く



手話の数詞  
「9」と同じ

け



こ



カタカナの  
「コ」の一部

さ



し



手話の数詞  
「7」と同じ

す



カタカナの  
「ス」

せ



「背が高い指」

そ



「指示する手の形」

た



ち



つ



て



と



「2つの物を  
ひとつに合わせる」



な  
アルファベットの  
「n」



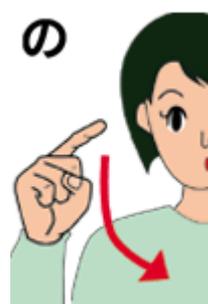
に  
カタカナの  
「二」



ぬ  
手話の「盗む」



ね  
「木の根っこの形」



の  
カタカナの  
「ノ」を描く



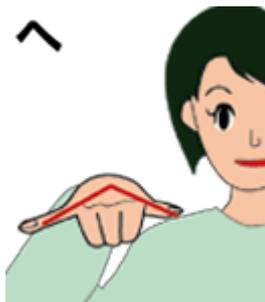
は  
「はさみ」の形を  
指で作る



ひ  
手話の数詞  
「1」と同じ



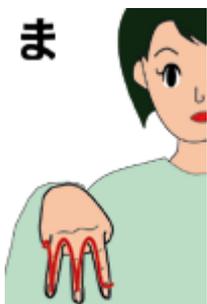
ふ  
カタカナの  
「フ」



へ  
カタカナの  
「へ」



ほ  
ヨットの「帆」を  
かたどる



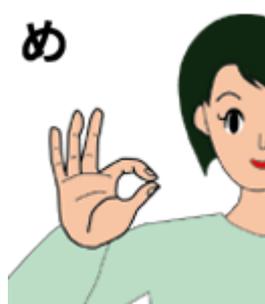
ま  
アルファベットの  
「m」



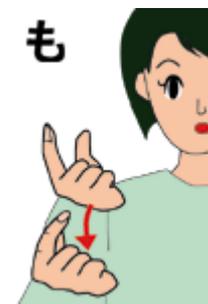
み  
手話の数詞  
「3」と同じ



む  
手話の数詞  
「6」と同じ



め  
「目」をかたどる



も  
「親指と人さし指」を  
合わせる



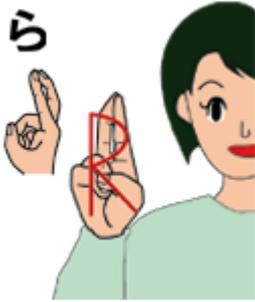
や  
アルファベットの  
「y」



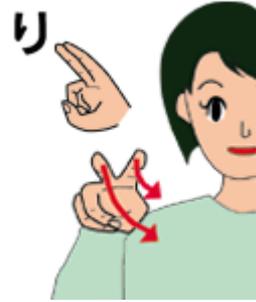
ゆ  
温泉マークの  
「湯気」をかたどる



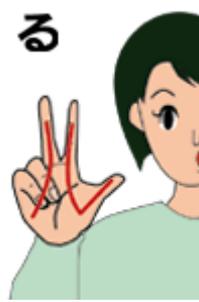
よ  
手話の数詞  
「4」と同じ



アルファベットの  
「R」



カタカナの  
「リ」を描く



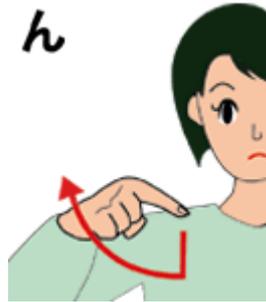
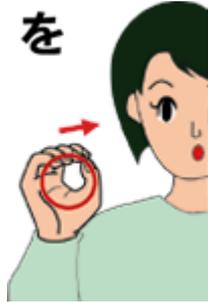
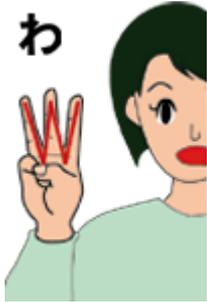
カタカナの  
「ル」



カタカナの  
「レ」

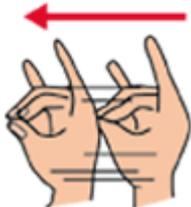


カタカナの  
「ロ」



指文字「き」を

濁音  
(例：ぎ)



横に移動させる

指文字の「ほ」を

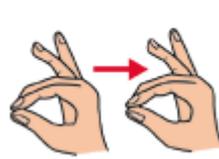
半濁音  
(例：ぼ)



上に移動させる

指文字の「つ」を

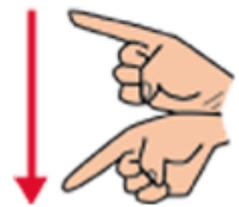
促音  
(例：っ)



手前に引く

人さし指で「I」を

長音



下に引いて長音記号を表す



0



1



2



3



4



5

6

7

8

9

10

100



1000



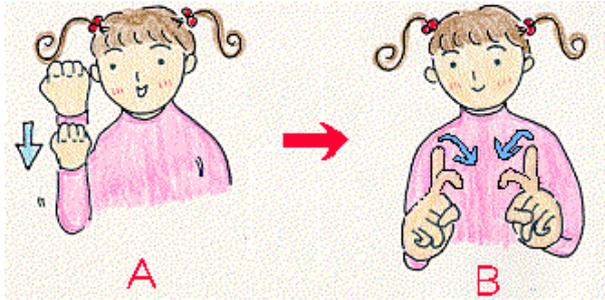
万



億

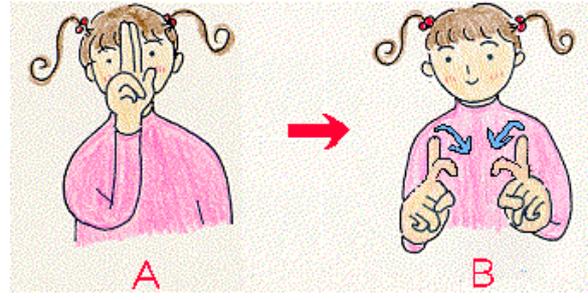
# あいさつ

## おはようございます



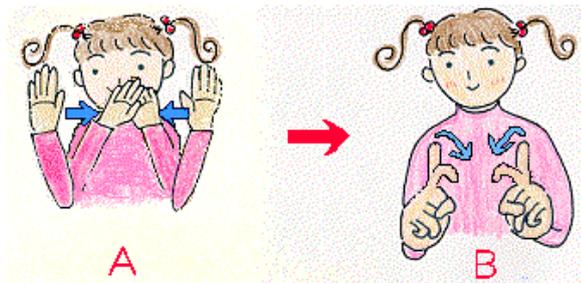
- A: 手を「グー」にして顎の位置の方へ下げる。  
 (「おはよう!」と言う時は、AのみでOK!)
- B: 両手をグーにして、人差し指を立て、すぐ曲げます。  
 これは、人と人が挨拶をしている様子を表します。

## こんにちは



- A: これは、「お昼」と言う意味です。  
 手を「う」の指文字にする。  
 顔から少し離れたところへ持っていきます。
- B: 両手をグー、人差し指を立て、すぐ曲げます。

## こんばんは

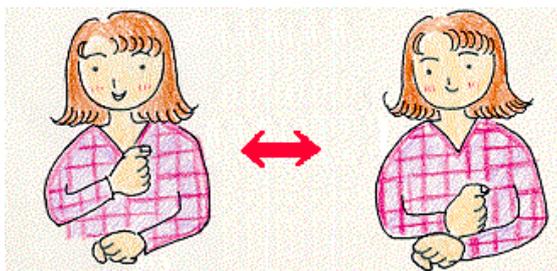


- A: 両方の手のひらを顔の横で相手に向けて、その後、顔を隠します。  
 これは、「夜」と言う意味です。
- B: 両手をグーにして、人差し指を立て、すぐ曲げます。

## おやすみなさい

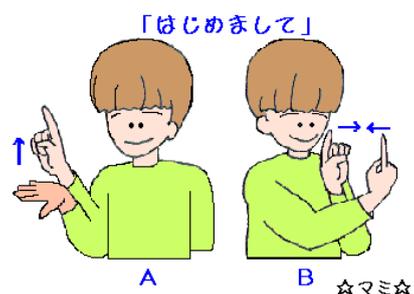


## お疲れさま



- 片方の腕を下に片方は上から叩きます。  
 「お疲れさまでした」と言いながら、気持ちを込めて、軽くトントンと。

## はじめまして



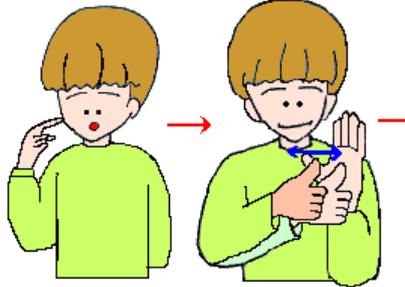
## ありがとう

- 左手の甲を上に出します。右手は指先を相手に向け、  
 垂直に立てた後、上にスッとあげます。



# 自己紹介

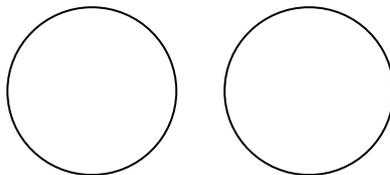
「私(の)」 「名前(は)」



A

B

A: 自分を指さします。  
B: 左手の真ん中に右手の親指を2回押しあてる。



「です」



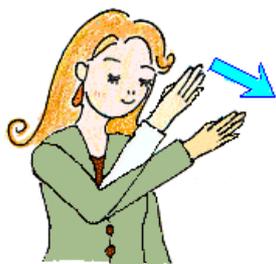
C

☆マミ☆  
C: 右手の手首から下に下ろします。

「よろしく」 「お願いします」

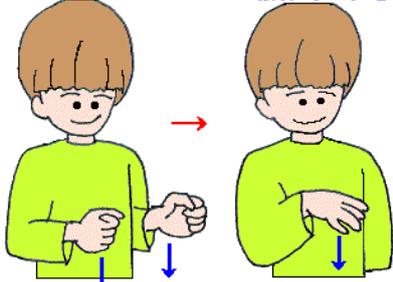


手をグーにして鼻のところから斜め下へ。"良い"という手話です。



拝むように、額の前から、斜め下へ。この時、顔も一緒に少し下げるとより丁寧です。

「住んでいる」 「場所(は)」

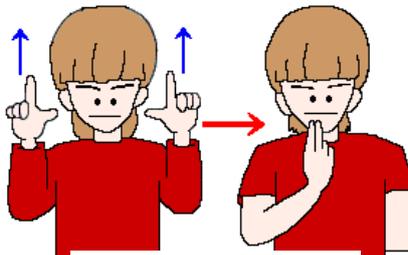


A

B

A: 両手を"グー"して、下におろします。  
B: 右手を少しまわして、何かを押さえるようにします。

「東京」 「都」



C

D

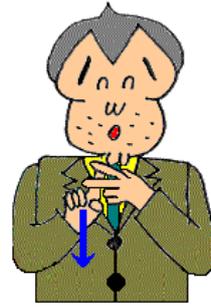
C: 太陽が昇る D: 指文字の「と」です

「茨城」



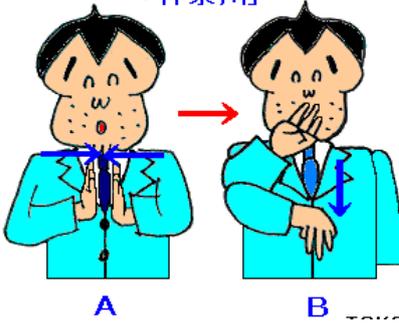
右手は左肩の方に、左手は右肩をはらうようにします

「千葉」



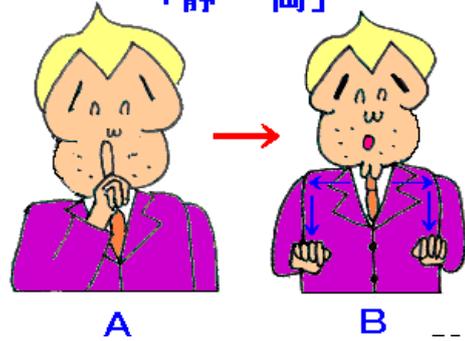
左手の人差し指と中指を出し、右手の人差しを真ん中にあてます。「千」という手話

「神奈川」



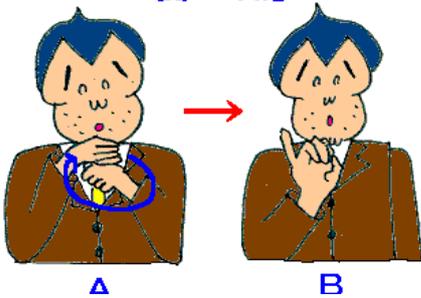
神を拝むように2回合わせる 「川」という漢字

「静岡」



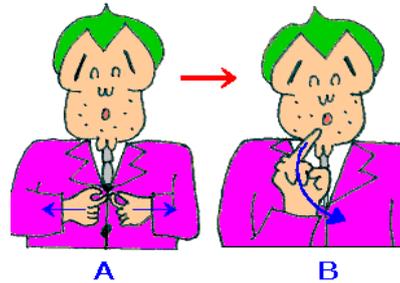
静かにといい表現です。両手の人差し指と親指をつけて左右に引いて下に降ろします。（“岡”という字のイメージです）

「愛知」



両手を握り拳にして上下に指文字の「ち」合わせてぐるっと回す

「長野」



両手の親指と人差し指で輪を作り、指文字の「の」指先を合わせて、左右に引き離します。（長いという意味を表します。）

「大阪」



指を揃え、こめかみに2回程あてます

「京都」



両手の親指と人差し指を立てて、胸の前から下ろします  
太陽が沈む＝“西”

「奈良」



奈良の大仏様のイメージ

「北海道」



両手の人差し指と中指をそろえ、顔の前で菱形を描きます  
北海道全体の地形を表現